

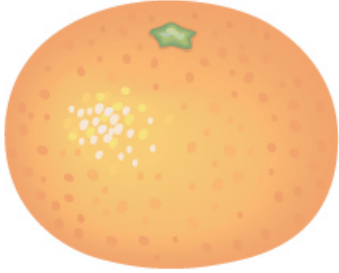
原子核理論研究室

<http://ruby2.scphys.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

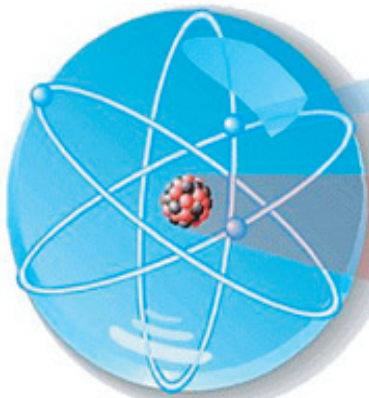
研究室紹介 5F 535 室 11:00 ~ 11:45 / 14:20 ~ 15:05

この時間以外でも院生がポスターを使ってお話します

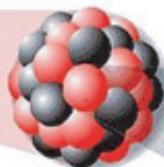
あらゆる物質



よくみると...



原子 $\sim 10^{-10}$ m



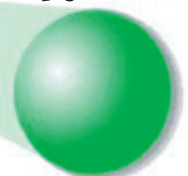
原子核
 $\sim 10^{-14}$ m

陽子・中性子



$\sim 10^{-15}$ m

クォーク
 $< 10^{-18}$ m



強い相互作用 有限量子多体系

スタッフ

国広	悌二	大西	明
菅沼	秀夫	板垣	直之
延与	佳子	福嶋	健二
藤原	義和	慈道	大介
巽	敏隆		

私たちの研究室では原子核・ハドロンの構造や動力学、高温高密度でのハドロン・クォーク物質の諸性質など、「強い相互作用」に基づく物理現象の理論的研究を2つのグループ（原子核、クォーク・ハドロン）に分かれて行っています。原子核グループでは、フェルミオンである核子の集合体である原子核に現れる様々な現象を研究することで、有限量子多体系の不思議を解明しています。クォーク・ハドロングループでは、物質の極限状態であるクォーク・グルーオンプラズマ（高温極限）中性子星（高密度極限）の系統的な研究、格子QCDと呼ばれる数値シミュレーションによって「強い相互作用」の基礎理論、量子色力学(QCD)の解明をしています。またハドロンの構造や動力学を下部構造であるクォークとグルーオンのレベルの力学の反映として、理解することを目指しています。